TOKYO 2020 オリンピック

卓球 中国破り金

東京五輪第4日の26日、卓球の新種目、混合ダブルスの決勝があり、水谷隼、伊藤美誠組がゲームカウント4―3で中国の許昕、劉詩雯組を破り、金メダルを獲得した。卓球競技で日本勢が金メダルに輝くのは、五輪に採用された1988年ソウル五輪以来、初めて。

この日の中国ペアは世界ランキング1位。同2位の水谷、伊藤組は過去一度も勝利したことがなかったが、大金星を挙げた。

水谷、伊藤組は1回戦でオーストリアペアに4―1で勝利し、ドイツとの準々決勝では相手のマッチポイントを計7度もしのぐ大逆転勝ち。準決勝も、難敵の台湾を退けて勝ち上がった。

朝日新聞

2021年（令和3年）
7月26日
月曜日

五輪号外

水谷・伊藤組 新種目混合ダブルス